

近世・近代の寺社関係資料から ～ 県庁伝来旧藩記録を覗く～

専門研究員 重田 香澄

はじめに

県庁伝来旧藩記録; 来歴については研究アリ
→ 実物を観察; 来歴が資料にどのように表れているか
寺社関係資料から紹介

1. 県庁伝来旧藩記録って?

萩藩→山口県→県立山口図書館→文書館、と移管された文書群【下記文献参照】

- ① 藩庁の山口移鎮(1863年); 萩から山口へ一部移動
- ② 廃藩置県後(1871年); 毛利家と山口県各課で緩く分け持つ
毛利家保持分が毛利家文庫へ
- ③ 旧記掛設置(1879年); 毛利家と山口県で選別して分け持つ
山口県は旧記掛で一括管理
- ④ 旧記掛廃止(1883年)後; 山口県分は永年保存化、その後県立山口図書館へ

2. 実際、どう残っている?

- ① 県庁→毛利家文庫; 表紙の朱書や表紙に使われた紙が来歴を反映
- ② 県庁→県庁伝来旧藩記録; 山口図書館のラベルや蔵書印が特徴
- ③ 県庁文書と県庁伝来旧藩記録に分かれて保存される
- ④ 県庁文書の中に残される

3. 表紙のラベルはいつのもの?

例: 有故寺社(県庁伝来旧藩記録 905～909)

新しい順に

- 山口図書館移管後のラベル
- 旧記庫管理時のラベル(明治39年<1906>)【山崎2001、2013】
- 山口県庶務掛のラベル
- 評価・選別に係る貼紙
…山口移鎮～廃藩置県の間?
- 江戸時代の改印

4. 使った痕跡を見たい!

例: 大照院校割帳新入物控(県庁伝来旧藩記録 964)

- 大照院(現萩市)の什物等の台帳(安政5年<1858>)
- 印の違い→時代の違い

【主要参考文献】

- 『山口県史 通史編 近世』第二編第五章第三節(山口県、2022年)
- 山崎一郎「毛利家文庫と山口県文書館」(『第14回中国四国地区アーカイブズウィーク「情報と記録」アーカイブズ展示解説シート』、山口県文書館、2020年)
- 同 「近代における毛利家文庫の形成と萩藩庁文書」(『史学研究』280、2013年)
- 同 「明治～昭和戦前期、山口県庁における旧藩記録の保存と利用—毛利家文庫と県庁伝来旧藩記録—」(『山口県史研究』9、2001年)
- 広田暢久「山口県歴史編纂事業史(其の二)」(『山口県史研究』2、1994年)